

感染症情報 12月3日～12月9日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1630例(堺市 141例)
②溶連菌感染症	593例(堺市 86例)
③咽頭結膜熱	193例(堺市 6例)
④手足口病	146例(堺市 8例)
⑤みずぼうそう	134例(堺市 7例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 718例(堺市 48例)

感染症報告数は前週比12.5%増の3,067件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、手足口病、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週比15%増、堺市で前週比23%増であった。溶連菌感染症が府下では前週より6%増、堺市で前週69例→86例は25%増であった。咽頭結膜熱は府下で前週比22%増、堺市で11例→6例であった。手足口病が府下で前週より43%増、堺市では前週11例→今回8例であった。みずぼうそうが府下で前週比4%減、堺市で前週8例→7例であった。なお、報告第6位の伝染性紅斑(りんご病)が府下で42%増とまだ増加中(堺市では3例)。豊能ブロックでは警報レベルを超えている。

インフルエンザは府下で前週379例→今回718例であった(89%増、定点当たりの報告数は2.4)で、堺市では前週64例→今回48例となった(25%減)。

麻疹の報告が府下で4例あり。風疹が府下で前週6例→今回7例あった(堺市は1例)。